



北海道手稲養護学校三角山分校

令和8年度 学校だより

第2号

令和8年7月23日(木)発行



全校レクリエーション

6月26日(金)の5校時、児童生徒会執行部の東峰綾杜さん(会長)と田中花菜加さん(副会長)が企画した全校レクリエーションが開催されました。

全校レクリエーションは、他学部・他学年との交流を通じ、お互いを思いやる「豊かな心」と協力して成し遂げる「社会性」を学ぶことが目的です。執行部は目的の達成に向け、知恵を絞って企画を練り上げました。

当日は小学部、高等部の児童生徒が3グループに分かれ、抽選で選ばれた教員チームも交えて「借り物ゲーム」と「クイズ大会」に挑戦しました。

借り物ゲームでは、広い体育館からカードを探し出し、そこに書かれた物を持っている先生を見つけてペアでゴールを目指しました。カードと先生探しに悪戦苦闘しつつも、大いに盛り上がりました。

クイズ大会では、「タコの心臓の数はいくつ?」といった全12問の二択クイズに挑戦し、チーム内で熱心に相談し合いながら、楽しく答えを導き出しました。児童生徒が協力し、笑顔で目標を達成することができた全校レクリエーションとなりました。(文責 松島)



8・9・10月の行事

8月18日	(火)	2学期始業式(在校・訪問) 午前授業
8月31日	(月)	前期期末考査(～9/4)
10月5日	(月)	振替休業日(10/10分)
10月10日	(土)	学校祭
10月26日	(月)	保護者参観・懇談週間(～10/31)

学校閉庁日

8月12日(水)～8月14日(金)
職員は不在です。

見学旅行を終えて

6月17日・18日の1泊2日で、旭川・砂川方面に見学旅行へ行ってきました。出発式では、団長から「体調に気を付けて旅行を楽しむように」とお話があり、生徒達はこれから始まる旅行を前に、期待と高揚感で胸を躍らせながら耳を傾けていました。出発式後には、教職員に盛大に見送られながら学校を後にし、1日目の目的地である旭川駐屯地へと向かいました。

旭川駐屯地への到着後は、隊員食堂で自衛隊員と同じメニューの昼食をとる喫食体験をしました。昼食後には、音楽隊による迫力ある演奏を聴いたり、飛行隊の多用途ヘリコプターや99式自走りゅう弾砲などを間近で見せてもらったりしました。その後も、駐屯地内にある売店で買い物をしたり、隊員の方と記念撮影をしたりするなど、自衛隊が好きな生徒達にとってどれも貴重な体験となり、心に残る思い出になりました。

2日目は旭川から砂川へ移動し、人気自然派コスメブランド・Shiroの体験型施設「みんなの工場」を見学しました。ここでは、オリジナルの香水を作る体験学習に挑戦。親子で楽しく話し合いながら香りを調合し、協力して世界に一つだけの香水を完成させました。

最後に旅行の感想を聞くと、「とても楽しかった」「また行きたい」「自衛隊の演奏が迫力あってすごかった」「これから勉強も頑張る」といったポジティブな声がたくさん聞かれ、きわめて充実した見学旅行となりました。(文責 鶴田)



【北鎮記念館で記念撮影】



【99式自走りゅう弾砲前にて撮影】



【Shiroでオリジナル香水作り】

小・中学部集会

7月13日(月)、「夏祭り」をテーマにした小・中学部集会を行いました。今回の活動は、夏祭りのイベントを通して季節の移ろいを感じたり日本の伝統文化を体験したりすること、そして、仲間と一緒に楽しみを共有し、集団としての繋がりを深めることをねらいとして実施しました。

会場に賑やかな盆踊りの歌が流れる中、子どもたちは「すいか探し」や「的たおし」、「魚釣り」といった様々な活動に取り組みました。特に「魚釣り」のコーナーでは、釣り竿をしっかりと握り、マグネット付きの釣り糸を垂らしながらゲームを楽しむ表情が印象的でした。教師から声援を受けて魚を釣り上げると、嬉しそうに笑顔が見られた場面もあり、活動を楽しんでいる様子が伺えました。また、活動の最後には全員で盆踊りをして、記念写真も撮影しました。

夏祭りらしい活気のある雰囲気の中で、仲間とともに夏ならではのひとときを過ごし、和やかな時間となりました。今後も、こうした季節の行事を通じた経験を大切にしながら、子どもたちの豊かな感性や仲間意識を育んでいきたいと考えています。(文責 愛澤)

